
父子の思い

プチメタボ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

父子の思い

【Nコード】

N1526F

【作者名】

プチメタボ

【あらすじ】

生き急ぐ子とそれを諫める父の思いが綴られた詩です。

気持ちがすっきりして 空を見る

いつもの景色が 僕を迎える

よく戻ってきたね と暖かい声が聞こえてくる

自分の思いを解放し 区切りをつけた時

心の緊張が解け ゆったとりとした自分になった

着飾る自分を捨てた時 見えないものが 見えてくる
いつもの道に咲く花が こんなにきれいだったんだね
柔和な花の優しさが 静かに胸に沁みてくる

心の糸が 緩んだその日 自然な僕が蘇る
張り詰めすぎた 自分の意志を 思い返して 鎮めることも
時には必要だねと 教えてくれた 親の心

全速力で走り続けた 長い日々
無意識のうちに潜む 野望の魂
自分では コントロールできない 燃える心

緩めても張る この熱い思い
親心知らない 子心
子ができて初めて分かる その思い

肉親がいる幸福を 当たり前にしてきた 今までの僕
ここまで育ててくれたんだねと その思いを知った時
見えないものが 見えてくる

焦って生き過ぎた僕を 諫めてくれるのは 父一人
それでも僕は 生き急ぐ これからも きっと 生き急ぐ

山肌の新緑が 朝日の光を まぶしく見つめる
父子と重なる その景色

今は少し穏やかな この心
静かにしているのは いつまでかな
気付かぬ うちに 奮い立つ
熱い僕の この魂

あるときつと 分かるだろう 父の思いが 分かるだろう
その日までは 走らせてねと 僕はきつと 言うだろう

いつか二人が分かち合う 互いの思いを分かち合う
互いに譲る優しさが いつか 生まれるその日まで
僕は激しく 生き急ぐ 父は 静かに 僕を見守る

父の心が 伝わるその日 見えない糸が 親子をつなぐ
小さな糸が 二人をつなぐ 暖かな陽が 二人を照らす

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1526f/>

父子の思い

2011年1月16日06時00分発行